

南一の風 育てたい力(資質・能力):つながる力・考動する力・創り出す力

オンラインで研究発表会

南関町では、小学校4校、中学校1校が持ち回りで、毎年研究発表会を開催しています。先週の11月27日(金)には、本校で研究発表会を開催し、研究主任の高田先生を中心に全職員で2年間取り組んできた研究の成果を発表しました。本来、研究発表会は、他校の先生方に本校に来ていただき、授業の様子を直接見てもらい、授業の在り方等について研究協議をするというのが通常の形です。しかし、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインでの発表会となりました。授業者は、4年生担任の有村先生です。算数「広さの表し方を考えよう」(面積の勉強です)の5時間目の授業を、他の4校と教育委員会等に配信しました。研究協議もオンラインで行いました。授業では、「L字型の図形の面積を工夫して求める」というめあてのもと、子どもたちは、タブレットを使いながら、L字型の形を長方形に分けたり、図形を移動させて辺の長さが違う長方形に変えたりするなどの工夫をしながら面積を求めていました。子どもたちも、担任の有村先生も笑顔で頑張ってくれました。他校の先生方からも、指導助言をいただいた熊本県立教育センターの3名の先生方からも賞賛の声をいただきました。今回のオンラインでの配信は、県立教育センター、南関町教育委員会など多くの関係機関の皆様のご支援をいただきました。

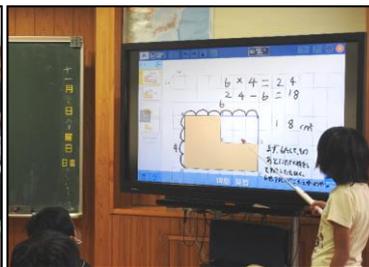
※ 今回本校で行いましたオンラインでの研究発表会については、熊本県が提携しているマイクロソフトのTeams(チームズ)というアプリを使っただけの配信で、熊本県内では初めての取組だったそうです。



ここに線を引いたら



対話しながら



電子黒板で説明



他校との意見交換

熊本県人権センター主催「令和2年度人権メッセージ(大切な人へのメッセージ～あの人に贈る“ありがとう”や“エール”)」に応募した2215点の中から、坂本るりさん(3年)の作品が、優秀作品30点の中に選ばれました。るりさんのメッセージは、

世の中の人へ

手洗い、うがい、
マスクにソーシャルディスタンス
きちんとまもっているよ。
みんなもまもっているの知ってるよ。
だれもががんばっているんだから
コロナさべつをしない
そんな世の中になったらいいな。

メッセージに込められたるりさんの想い
「みんな思いやりをもって、コロナをのりこえていきたいと思いました。」

このメッセージのような気持ちをもって、みんなで乗り越えましょう。

なんかん寺子屋教室

中学生への家庭学習サポートとして始められて5年目を迎えられました。4年生以上の小学生にもお試して経験してもらいたいということで、12月2日(水)16時~17時まで、公民館で開催されました。子どもたちは、黙々と勉強に取り組んでいました。



4名の子どもたちが参加しました。スタッフは、日高さん、右山さん、北村さん、本田さんの4名。南関の子どもたちのためにボランティアでお世話をさせていただく皆様に心より感謝しながら学校に戻りました。

給食の話で笑顔のスタート

朝からある子どもさんとその日の給食のメニューについて話をしています。子どもさんも笑顔、私も笑顔になります。※給食画像を毎日HPにアップしています。